

地平線

全日本港湾労働組合
関西地方建設支部機関誌

2021年1月7日 365号

全日本港湾労働組合関西地方建設支部

〒552-002

大阪府大阪市港区築港1-12-27

電話 06-6572-2105 / FAX 06-6574-5648

kensetsu @ crux. ocn. ne. jp

2021年 新春

明けましておめでとうございます

旧年中はお世話になりありがとうございました。

厳しいコロナの中ですが今年もよろしくお祈りします。

地球上には人間より何億年も前から存在していて原子核や素粒子のように目には見えないほど小さくて、タンパク質でできた物質であるコロナウイルス（表面の膜は脂質）たちがガンと存在していることを人間たちに知らしめて、新しい年、2021年が明けました。

元旦の暗いうちからカラスは元気にカーカーと鳴いていました。5500万年ほど前に絶滅した恐竜の生き残りの変種といわれるカラスも人間が生まれる前から地球にいますが、コロナウイルスなどどこ吹く風と公園で数を増やしながら高さ30メートルぐらいの時空間はカラスたちが元気に仕切っているように見えます。

科学力が日本では生命線ですが、科学者たちが安倍政権を批判したとして、「あいつらはけしからん」とか言って「わずか10億円くらいの金をだしたらんぞ」とかいつている政治では日本の科学力は没落していくのは当然です。

規律はあるが、科学者には自由に考え、研究し、発言してもらうために5兆円くらいポンと出すくらいでないといけない。

地下深く、陽子や中性子を飛ばして当てる加速器の実験場を作ったり、素粒子・量子の研究を助成しないと5G・6Gのスマホの世代、半導体や量子コンピューターなどの開発では大きな後れを取って日本の産業力は没落一方だろう。

菅政権も30年後には二酸化炭素（CO₂）ゼロとか、10年後にはガソリン車をなくし電気自動車（EV）とか政策を打ち出している。いま日本のGDP（国内総生産）は2000年から2019年の19年間で、世界の比率で

14. 6%から6%に下落している。
8年後にはGDPで中国がアメリカを抜くと予想されている。
世界や日本の政治経済が大きく変わる激動の時代。

コロナがどうなるか。やるも地獄、やめるも地獄と迫ってきた時限爆弾のオリンピックがどうなるか。

菅政権自身が秋風を乗り越えて存在しているのかどうか。

記念すべき2021年になります。
生き続けるために細心の心と神経、そして身体を働かせながら生き抜いていきましょう。

さて今年も、もうすぐ21春闘に入っていきます。

今年はコロナで旗開きを中止したので、意見交流・情報交換を新しい方法を工夫して実行する必要があります。

支部では昨年秋、執行委員会をズームなどデジタル・リモートでやったりしましたが、コロナの中、デジタル社会、EV（電気自動車）化、水素を使うクリー

ンエネルギー、再生自然エネルギーなど社会が急速に変化してきており、労働組合運動でも変化に遅れないために大衆的な創意工夫が大切になってきています。

1/13（水）には、コロナも考慮に入れながら地本で各支部代表者が集まり春闘の会議があります。

1/18（月）は支部執行委員会で建設支部の春闘方針を討議し決めます。

1/26（火）は関西地本での春闘討論集会があります。

また、全国的には2/3（水）～2/4（木）豊橋で全港湾中央委員会が開かれ春闘の基本要求が決定します。

それを踏まえ、3月上旬には各経営には要求提出します。

各分会は職場改善要求を執行委員と相談しながら要求内容を決めるようにしてください。毎年のことですが、昨年実現できなかった課題を明確にしながら今春闘で実現し乗り越えるように共に活動していきましょう。

今後の予定

1/8（金）	13:00	職場労働条件学習会（地本）
1/13（水）	13:00	地本・各支部代表者会議（春闘にむけて）
1/14（木）	18:30	ヨンデネット（日朝日韓連帯）
1/18（月）	18:30	支部執行委員会
1/21（木）	18:00	弁護士・相談会
1/25（月）	13:30	地本執行委員会
1/26（火）	9:30	地本春闘討論集会（第1センター）
	18:45	南大阪幹事会（地本）
1/29（金）	9:30	地本労災職業病対策委員会
2/1（月）	18:30	支部執行委員会（予）
2/3（水）	13:30	全港湾中央委員会（豊橋）
2/4（木）	9:00	全港湾中央委員会（春闘方針決定）
3/初旬		春闘要求提出

